



# 二之江の子

令和7年2月28日  
江戸川区立二之江小学校  
第11号

## 成長を見つめて

校長 大石 吉郎

2月は冬型の気圧配置が強まり、寒波の影響が続きましたが、ここに来てようやく穏やかな陽気となってきました。

先日は、今年度最後の学校公開にご来校いただき、ありがとうございました。この日に行われた「金管バンド」のお別れコンサートを最後に、6年生は引退となりました。2月25日(火)の全校朝会前、階段を上がりながら体育館に向かう途中、いつものようにすてきな演奏が流れてきました。演奏している人数が少ないと思っていたら、その日は、4年生のスケート教室があったので、演奏していたのは、5年生でした。今まで6年生がお手本を見せてくれていたので、「今度は私たちがお手本になるようにがんばる」という5年生の気持ちが伝わってくる演奏でした。



今月は、1年間のまとめの月となります。今までの成長を振り返るとともに、その成長を友達と喜び合える時間を大切に過ごしてほしいと考えています。



1年生の教室に行くと「昔あそび」の「おはじき、おてだま、けん玉、こま」など、子供たちは夢中になって取り組んでいました。私も久しぶりにやってみましたが、すぐに感覚が戻りました。子供たちと一緒に活動しながら、1年生がたくましく成長していることをうれしく思いました。

自転車の乗り方や水泳での泳ぎ方など、子供の頃に身体が覚えてしまえば、大人になっても忘れることはありません。

小学校時代に体験したこと、感動したこと、やり遂げたことなど、その子にとってそれが「宝物」となります。特に6年生は、6年間で得た「宝物」を大切に、二之江小学校を巣立って行ってほしいと願っています。

1年生から5年生も、この1年間、クラスの目標や自分の目標に向かって全力で取り組んできました。ご家庭でも、お子さんの頑張りを認め、成長の過程と一緒に喜び合える機会をつくっていただきたいと思います。



星とたんぽぽ

金子 みすゞ

青いお空のそこふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんで、  
昼のお星はめにみえぬ、  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬけれどもあるんだよ。

ちつてすがれたたんぽぽの、  
かわらのすきに、だアまって、  
春のくるまでかくれてる、  
つよいその根はめにみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

左の詩は、金子みすゞさんの「星とたんぽぽ」です。子供たちの成長の中には「見えるもの」ばかりではありません。この詩のように、子供たちの成長には、なかなか見えにくいものもあります。

この詩には、見えないものに注目し、その存在を知ってほしいという願いが込められています。これからも「見えぬけれどもあるもの」に心をめぐらせることを大切に、温かく見守っていきたいと思います。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様にご支援ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。